沼中だより

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

9月号
2026年9月18日発行
逗子市立沼間中学校
校 長 河原林 薫

○校長先生より○



9月1日全校集会～校長講話より

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。 長い夏休みが明け、学校に子どもたちの明るい笑顔と活気が戻ってまいりました。無事に2学期を迎えられましたのも、ご家庭や地域での温かい見守りがあってこそと、深くお礼申し上げます。

９月１日の全校集会では、まず子どもたちへ「元気に学校へ来てくれてありがとう」という感謝を伝えました。久しぶりに再会した友達や先生と夏休みの思い出を語り合うことの大切さを話すとともに、不安や悩みを抱えている生徒が安心して過ごせるよう、学校全体でサポートしていくことを約束いたしました。

また、講話の中では、この夏から秋にかけての「新しい取り組み」について生徒たちに話をいたしました。保護者・地域の皆様にもぜひお知り置きいただき、ご協力をお願いしたい点がございます。



1. 地域とともに歩む学校へ（コミュニティ・スクールのスタートと「ぬまま熟議」）

本年度より、本校は沼間小学校とともに「逗子市東部学校運営協議会」を立ち上げ、コミュニティ・スクールとしての第一歩を踏み出しました。 去る８月 26 日には、その取り組みの一環として「ぬまま熟議」を開催いたしました。暑い中にもかかわらず、小・中学生合わせて約 30 名の児童生徒が参加し、地域の方々や保護者、教職員とともに「10 年後、どんな自分になっていたいか」「学校や地域でできること」について熱心に語り合いました。

地域や学校の未来を真剣に考える子どもたちの姿は大変頼もしく、地域の魅力を再発見する素晴らしい機会となりました。熟議で出された意見をまとめた模造紙は生徒昇降口に掲示しております。これからも、学校・家庭・地域が手を取り合い、みんなでより良い学校を創ってまいりたいと考えております。



2. 学習用端末（iPad）の導入「大切に使う心」

今日から、生徒が使用する学習用端末が Chromebook から iPad へと新しくなりました。 生徒たちには、学習に大いに活用することに加え、「この iPad は、皆さんが卒業した後、逗子市の小学校 1 年生へと引き継がれる」ということを伝えました。自分のためだけでなく、「次に使う人のためにも大切に扱う」という気持ちを持って活用してほしいと話しております。

ご家庭におかれましても、端末の取り扱いルールや安全な利用について、マチコミメールにてお送りいたしましたガイドラインをご確認いただき、お子様と一緒にご家庭でのルールについてお話し合いいただけますと幸いです。



９月よりまた、みんなで集まり、学び合う学校生活が始まっています。

子どもたちが自分たちの成長だけでなく、周りの人や次の世代のことも考えられる豊かな心を育めるよう、教職員一同、全力で支援してまいります。 今学期も、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



○夏休み明けの各学年の様子○

<2年生> 自然体験学習に向けて

夏休みが明け、２年生では、11 月 10 日（火）・11 日（水）に予定している自然体験学習（キャンプ）に向けた取組が始まっています。昨年度の「横浜めぐり」に続き、沼間中学校 ２ 年生にとって ２ 回目となる校外学習。そして今回は、初めての宿泊を伴う活動です。

昨年度は、班員を決める場面で、思うようにいかないこともありました。そこで今回は、できるだけ一人ひとりが納得し、安心して活動できるよう、班づくりを大切にしました。班長のみなさんも、休み時間などに時間を見つけて、「みんなが気持ちよく活動するにはどうしたらよいか」と、真剣に考えてくれました。

班が決まった後は、班の中で担当する係を決めたり、クラスで行うスタンツの内容を考えたりと、少しずつ準備が進んでいます。写真からも、友達と相談しながら、楽しそうに活動する子どもたちの様子が伝わるのではないでしょうか。

当日は、磯の活動、火起こし体験、キャンドルファイヤー、カレー炊事など、普段の学校生活ではなかなかできない体験を予定しています。なお、以前の懇談会でお伝えしていたイカダ体験については、11 月の気温や安全面を考慮し、実施しないこととしました。ご理解いただければと思います。



これから係別会議などを重ねながら、みんなで一つのキャンプをつくっていきます。ぜひご家庭でも、「何の係になったの？」「どんなことをするの？」と、お子様に聞いてみてください。11 月 ４ 日（水）の学年懇談会でも、自然体験学習についてお話しする予定です。ご都合がつきましたら、ぜひご参加ください。

（2年代表　平元遼一）



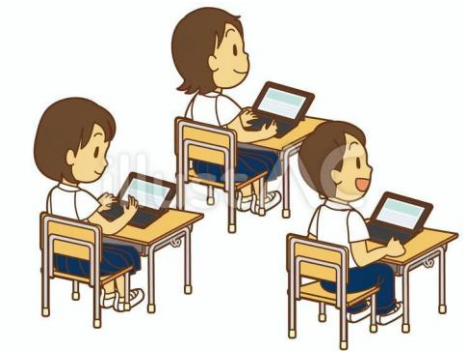


＜1年生＞「POP」&「ENAGEED」

先月号でお話しした POP ですが、11 月に逗子図書館に展示されることが決定いたしました！最初はこちらで厳選した数名を展示する予定でしたが、皆さんの作品があまりにも素敵だったので提出してくれた人全員展示していただくようにしていただきました。詳しい時期は改めてご連絡させていただきますので、もうしばらくお待ちください。尚、展示の際「同意書」の提出が必須となりますので、こちらも近づきましたらばお願いすることになると思います。重ねてよろしくお願いいたします。

9 月に入り、40 期は 11 月 20 日（金）に予定されている「横浜めぐり」の準備が始まりました。まずは今年度から採用された『ENAGEED』（エナジード）。「気づく力」「発案する力」「実現する力」を養うための教材です。映像・質問・実践を繰り返すことによって、子どもたちが理解し、実践し、習慣化することを目的としています。まだまだ始まったばかりですが、この学びが「横浜めぐり」にどのように生かされるのかとても楽しみです。

（1 学年　田中里香）











<3年生> 保育体験の様子

「ずっと保育園にいたい」とは生徒の言葉。

夏休みがあけて間もない日の1時間目と2時間目を利用して沼間愛児園に触れ合い体験に伺いました。

体験に向けては、自分の幼いころを思い出し、どんな遊びをしただろうか？どんな絵本を読んだだろうか？と準備を重ねてきました。図書館司書の先生に絵本の読み聞かせのポイントを教えていただくことや思い思いのフェルト名札を作ることも致しました。

保育園に到着すると、園長先生や先生方が出迎えてくださり、ご挨拶をすますと5班に分かれ1歳児さんから5歳児さんの教室に入室。あるクラスでは、「あなたのおなまえは」の歌でそれぞれの名前を聞いてくださるなど大歓迎の雰囲気があふれていました。

生徒の中には沼間愛児園出身者もおり、生徒自身もこの日を楽しみにしているばかりではなく、生徒たちの触れ合いの様子を見ていた保育士さんからも「こんなに立派になって」という言葉をいただき、これまでの成長を温かく見守ってくださっていることを感じ、嬉しく思いました。

前半は教室内で触れ合い、後半は園庭で遊ぶクラスもありましたが、教室の内外を問わず、幼児さんたちは大きなお兄さんやお姉さんと遊べることに喜びを体いっぱいに表現してくれているようでした。驚きの一つは幼児さんの多くはお兄さんたちが大好きな様子で、最初から最後までお気に入りのお兄さんから離れない子や一人のお兄さんにたくさんの幼児さんが戯れるなど楽しい時はあっという間だったのではないでしょうか。

帰り際、園庭で遊ぶ幼児さんを振り向きながら帰る生徒の姿が印象的でした。

※1クラスは天候不良のため延期となってしまいましたが、9月末に実施いたします。

（家庭科担当　酒井美智子）



